

# Ⅲ-3 子どもの感受性にどう向き合いますか

## 【プログラムのねらい】

- ・子どもは感受性が豊かで、高い吸収力を持っていることに気づき、子どもに向き合う姿勢を考える。
- ・他人の気持ちを考えることのできる思いやりの心を育てるための親の関わりについて考える。

## 【プログラムの展開例】

時間	進め方	準備
10分	<p>▶ <b>アイスブレイキング</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ分け(数人のグループに分ける)</li> <li>・自己紹介を行い、互いの共通点をなるべく多く探し出す。</li> <li>・各グループでどんな共通点が見つかったか発表する。</li> </ul>	P2「アイスブレイキング各種」参照 名札
30分	<p>▶ <b>Work</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エピソードを読み上げ、子どもころに経験したことを思い出して①②を記入し、発表する。 ※からかう、からかわれた経験、あるいは近くで起こっていたことを思い出して書き、話し合う。</li> <li>・4人の意見を読み、自分の考えをまとめる。</li> <li>・どうしてそう思ったかをグループで話し合う。</li> <li>・エピソード2を読み、それぞれの親の立場になってどのような対応をするか、自分の考えを記入する。</li> <li>・各自の声掛けを理由とともに発表し、話し合う。</li> <li>・グループの意見をまとめる。</li> </ul>	ワークシート 筆記用具
20分	<p>▶ <b>グループ発表、まとめ、振り返りシート</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各グループで出たアイデアについて全体で発表・紹介し、話し合う。</li> <li>・各自で自分が子どもに対して生かせそうなこと、気付いたこと、今後やってみたいことを振り返りシートに記入する。</li> </ul>	振り返りシート